

航空幕僚長の米国出張について

11月13日～16日の間、航空幕僚長 内倉 浩昭 空将及び空自准曹士先任 高着 弘康 准尉は、米国ハワイ州で開催された米太平洋空軍主催の太平洋地域空軍参謀長等シンポジウム（Pacific Air Chiefs Symposium, PACS）に参加しました。

同シンポジウムでは、インド太平洋地域のみならず、世界中から参加した各国空軍参謀長等との間で、国際情勢や安全保障環境についての意見交換、パネルディスカッション等を行い、相互理解の促進及び関係強化を図りました。

自由で開かれたインド太平洋の実現に向けて、世界中の空軍参謀長等が一堂に会するこの場を活用し、国際情勢等に関する意見交換を行い、同盟国・同志国間での連携強化を図ることは重要です。

航空自衛隊は、引き続き、同盟国・同志国との連携強化のための活動を続けていきます。

